



エアライトS

# 劇的進化。エアライトSがすべてを変えた!

従来の衝撃吸収メカニズムを根本から変えた、新開発「サポートブロックメカニズム」によって、「劇的進化」を果たした新内装エアライトS。  
頭頂部までの全高を従来モデルより一気に19ミリ下げ、13.3センチに。  
そして総質量をぐっと抑え、首への負担を軽減。さらに涼しく、通気性もアップしました。

かぶればすぐに実感できる

3つのメリット

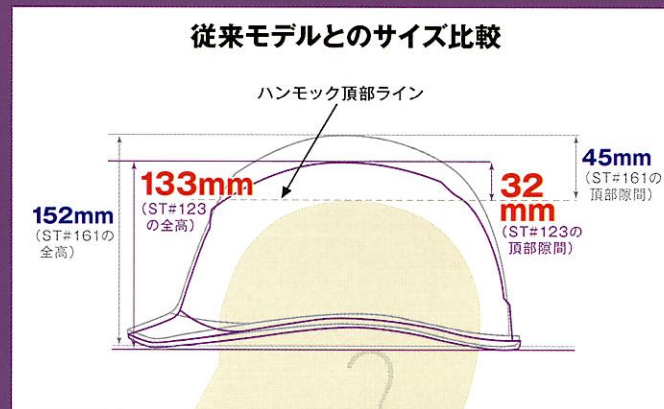
メリット1  
ズレにくく  
動きやすい  
頭との  
一体感

メリット2  
軽くて  
重心が低い  
首への  
負担軽減

メリット3  
帽体内に風が  
入りやすい構造  
抜群の  
通気性

## 帽体の全高13.3センチ コンパクト設計

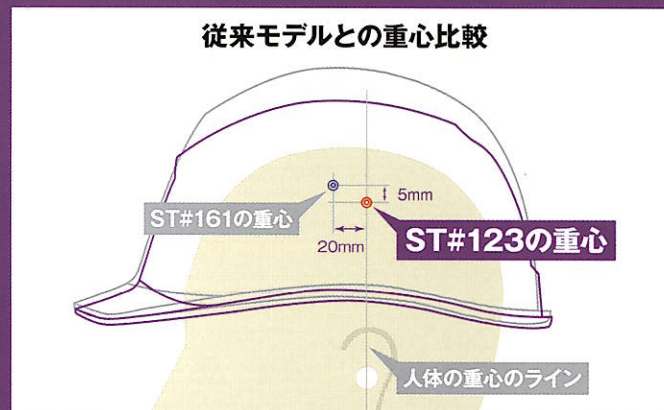
低全高



従来モデルは、帽体とハンモックの間に衝撃を吸収するための空間が45ミリ必要でしたが、新開発のサポートブロックによりこの空間を約32~34ミリに抑え、全高13.3センチとコンパクトに。ヘルメットを足場にぶつけてしまう回数などは、飛躍的に少なくなると期待できます。

## 軽くて低重心 首がラクに

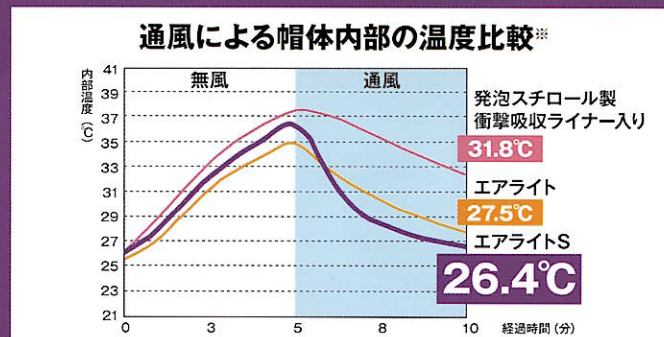
低重心



ポリカーボネート製では従来モデルよりマイナス80グラム、約18%の軽量化を実現。上向きや下向きの作業では首の負担は数倍にもなると言われていますので、80グラムという質量差以上の違いを感じます。123グループの重心はほぼ人体の重心のラインに沿っているため、長時間着用した際の首への負担を軽減します。

## 通気性アップ さらに涼しく

通気性



エアライト搭載の2モデルは帽体内の温度が上がりやすく、特にエアライトS搭載のST#123-JZVは通風後、急激に温度が低下します。

発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーを無くすことで、通気性を高めた内装「エアライト」。「エアライトS」は、その通気性をさらに向上させています。動いたときに空気がより一層よく通り抜けるように設計、涼しさも抜群です。

試験方法  
37°Cに設定したサーマルマネキンにヘルメットを着用させ、時間経過によるヘルメット内部の温度変化を内装頂部の1cm上で測定。開始時は無風、5分経過後にヘルメット正面から風速1m/sの風を5分あてる。  
(試験ヘルメット) ST#123-JZV(エアライトS搭載)、ST#161-JZV(エアライト搭載)、ST#161-EZV(発泡スチロール製衝撃吸収ライナー入り) (試験条件) 室温26°C、湿度42%  
※帽体の形状の違いにより効果は異なります。

●比較した従来モデルはST#161-JZV